

会 議 録

会議名 (審議会等名)		相模原市水とみどりの基本計画推進協議会				
事務局 (担当課)		環境共生部水みどり環境課 電話 042-769-8242 (直通)				
開催日時		平成 26 年 7 月 28 日 (月) 18 時 00 分 ~ 20 時 00 分				
開催場所		相模原市総合保健医療センター A 館 7 階 視聴覚室				
出席者	委員	8 人 (別紙のとおり)				
	その他	1 人 (アジア航測株式会社)				
	事務局	8 人 (環境共生部長、水みどり環境課長 他 6 人)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	0 人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
会議次第		議 題				
		1 相模原市水とみどりの基本計画の平成 25 年度実績報告書(案) について【資料 1】				
		2 相模原市水とみどりの基本計画の前期 (平成 22 年度 ~ 平成 25 年度) における施策の取り組みについて【資料 2】				
		3 市民アンケート結果、団体ヒアリング結果の概要について【資料 3】				
		4 計画素案 (序章 ~ 第 1 章) について【資料 4】				
		5 その他				

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。

(委員の発言、 事務局の発言)

相模原市環境共生部長のあいさつに続き、相模原市水とみどりの基本計画推進協議会委員長があいさつし、議事に入った。

1 相模原市水とみどりの基本計画の平成25年度実績報告書(案)について【資料1】

2 相模原市水とみどりの基本計画の前期(平成22年度～平成25年度)における施策の取り組みについて【資料2】

議題1および2について、関連する議題であるため、2つを併せて事務局による説明の後、質疑応答及び意見交換を行った。

74ページのモニタリング調査のモデル的な取組として、NPO法人相模原こもれびとNPO法人境川の斜面緑地を守る会を考えているそうだが、正式な依頼が届いていない。

市と交流する機会が多い団体として両団体を考えているが、現時点では、その段階まで着手できていない。

18ページの八瀬川沿いの緑地の指定を見送った理由は何か。

特別緑地保全地区としての指定を目指していたが、対象地が開発事業として利用しにくい斜面地であり、開発事業の対象地となる危険性が低いため見送った。

ふれあいの森などの緑地を購入する際に使用する基金の買取り状況が知りたい。

緑地保全基金の現在高は、現在、約20億円を土地と現金で保有しているが、大半を土地として保有している。緑地購入は計画的に行っているものの、市の一般会計を利用し土地を現金化し、それを購入資金にしているため、購入量については、市の財政状況に左右させられている現状である。

東林ふれあいの森などの購入は相続が発生した際に対応している。

市民の森についての進捗状況を知りたい。

昨年度3月に策定された森林ビジョン実施計画の中で整備の検討を行っている。

進捗状況の評価の仕方について、定義などはあるのか。

新・相模原市総合計画に準じた評価である。

参考にした基準などの基にしたものの出典先を記載した方が良い。

評価は誰がしているのか。

施策所管課で評価している。

市民の意見などは入れないのか。

新・相模原市総合計画と同様に推進協議会を市民からの意見の場としている。

公になる物であるならば、市民からの意見を求める機会を設けた方が良い。

文字や記号などで評価されたものは、今後の活動の材料となるため重要である。そのため、評価をする際は、慎重に行わなければならない。

資料2は重要な施策もあるため、課題を整理し明確にした方が議論しやすい。

3 市民アンケート結果、団体ヒアリング結果の概要について【資料3】

事務局による説明の後、質疑応答及び意見交換を行った。

アンケートの回答に地域的な偏りがあるが、抽出方法を教えてほしい。

地区別の人口比率から抽出したもの。

都市部からの意見が多かったが、人口比が低い地区の声を聞けた方がより客観的になる。

各地域の回収率を知りたい。

どの地区も約4割の回収率であった。

アンケートの自由意見がまとまったら教えてほしい。

4 計画素案（序章～第1章）について【資料4】

事務局による説明の後、質疑応答及び意見交換を行った。

生物多様性の内容をただ追加しているのではなく、しっかりと位置づけされていて良い。

6ページの生物多様性の定義に景観条例のことを入れてみてはどうか。また、生物多様性の危機に文化的景観などについて、第5の危機に加えても良いのではないか。

次回までに検討する。

7ページの下部の図にある遺伝子のプールは非常に重要であるため、もう少し詳しく内容を書いた方が良い。

参考文献や出典先は記載した方がよい。専門家の中でも定義や単語について議論がされているため、専門家の目から見て出典先の良し悪しが判断できる。

5 その他

事務局より次回の会議を平成26年8月25日（月）15：00から開催することを伝えた。

以上

相模原市水とみどりの基本計画推進協議会 委員名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	田畑 貞壽	千葉大学名誉教授、(公財)日本自然保護協会顧問	学識経験者	出席
2	田淵 俊人	玉川大学農学部生物資源学科教授	〃	出席
3	岡部 誠	(公財)相模原市まち・みどり公社評議員	関係団体	出席
4	石田 幸彦	桂川・相模川流域協議会監事	〃	出席
5	高橋 孝子	NPO法人相模原こもれび副理事	〃	出席
6	秋永 真里子	NPO法人境川の斜面緑地を守る会理事	〃	出席
7	鈴木 史比古	津久井郡森林組合代表理事組合長	〃	出席
8	熊谷 達男	「小松・城北」里山をまもる会副会長兼会計	〃	出席